

共同研究/実験プロジェクトの経緯

2000年~2004年

- 立命館大学内にファインズ研究センターを設立し下記の実験経済学的研究を展開
- 大規模サイバー・ディーリングを利用したマーケット・マイクロ・ストラクチャの研究(学術フロンティア事業)
 - 実験による、情報開示と投資家の情報処理能力が資産価格形成に果たす役割の研究(科研基盤A)

2003年

- 6月 3者共同研究基本合意
- 9月 3者共同研究契約締結
実験ラボラトリー完成
NFI*がCSRプロジェクト開始
実験システム完成
- 10月 第1フェーズ実験開始

2004年

- 9月 オープン・リサーチ・センター整備事業に選定
実験ラボラトリー拡張移転

2005年

- 1月 第1フェーズ実験終了
- 2月 実験システム追加開発着手
- 6月 第2フェーズ実験開始予定
- 8月 第1フェーズ実験結果に基づく研究成果発表予定

*NFI:日興フィナンシャル・インテリジェンス

実験ラボラトリー (Chocola)の概要

所在 ■立命館大学BKC社系研究機構ファイナンス研究センター内

規模 ■実験者ルーム/被験者ルーム(被験者用ブース25席)計128m²

- 設備
1. Chocola 実験システム
実験者用サーバ 3台、被験者用端末 デュアルディスプレイPC 25台
大型パネルディスプレイ 1台
 2. インターネット実験システム
サーバ 1台

*Chocola: Capital Asset Pricing Theory and Behavioral Economics Laboratory

産官学共同研究/実験プロジェクト

[実験的手法による、投資家行動とリスク認知の研究]

(文部科学省 私立大学学術研究高度化推進事業 オープン・リサーチ・センター整備事業の認可プロジェクト)

【連絡先】

立命館大学 BKC社系研究機構 ファイナンス研究センター

〒525-8577 滋賀県草津市野路東1-1-1 Tel:077-566-1111(代表)

<http://www.ritsumeai.ac.jp/>

<http://www.finance.ritsumeai.ac.jp/>

日興フィナンシャル・インテリジェンス株式会社

〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町8-1 Tel:03-5644-1600(代表)

<http://www.nikko-fi.co.jp/>

<http://www.nikko.co.jp/GRP/>

株式会社 キーポート・ソリューションズ

〒104-0033 東京都中央区新川1-28-38 東京ダイビルディング2号館7階 Tel:03-3523-8601(代表)

<http://www.keyportsolutions.com/>

<http://www.k-zone.co.jp/>

実験経済学による 金融リテール業務の革新

産官学共同研究/実験プロジェクトの概要



立命館大学

日興フィナンシャル・インテリジェンス

キーポート・ソリューションズ

■実験的手法による、投資家行動とリスク認知の研究■

—文部科学省 私立大学学術研究高度化推進事業—

オープン・リサーチ・センター整備事業の認可プロジェクト



R100

古紙配合率100%再生紙を使用しています

産官学共同研究

実験プロジェクトの目的と経緯

投資動機やリスク選好度を背景に、個人投資家の投資満足がどこから得られるかを検証することを目的として、産学連携（立命館大学、日興フィナンシャル・インテリジェンス、キーポート・ソリューションズ）による共同研究／実験プロジェクトが2003年に発足しました。

立命館大学ファイナンス研究センターでは、いち早く実験経済学による売買実験（CAPM、オプション）を開始し、仮想売買実験における被験者教育や実験の精度を高め信頼性の高いデータを抽出するノウハウが蓄積されています。

日興コーディアルグループのシンクタンクである日興フィナンシャル・インテリジェンスには旧日興リサーチ・センター時代から蓄積された金融工学を背景とするリサーチノウハウがあります。

キーポート・ソリューションズにはネット証券のオンライントレーディングシステムの開発や日本最大の投資シミュレーションサイト [K-ZONE] の経営で培った、ニュービジネスモデルのシステム化ノウハウがあります。

これら3者のノウハウを融合して実験システムを開発し、実験経済学による仮想売買実験を実施してきました。例えば、昨今、関心が高まっている企業の社会的責任（CSR）に着目した社会的責任投資（SRI）についても、そのような動機が、投資家の満足度を高めることが共同実験の一つである個別銘柄の売買実験結果から得られています。

また、当プロジェクトは2004年度より文部科学省の私立大学学術研究高度化推進事業オープン・リサーチ・センター整備事業の一つに認可され、5ヶ年にわたる産官学共同研究／実験プロジェクトとなりました。

（「実験的手法による、投資家行動とリスク認知の研究」）

ファイナンス研究のフロンティア

- ▶ 実験による、投資行動の行動科学的基礎
- ▶ 個人投資家の行動分析と金融リテール業務の革新



共同実験の概要

実験Ⅰ Vstock

- ・株式仮想売買実験（東証上場株式からセレクトした50銘柄）により株式投資における個人投資家の行動を検証

実験Ⅱ Lottery

- ・BDM [Becker-DeGroot-Marschak] 法による効用関数のパラメータ計測
- ・リスク選好度の実用的な計測手法の開発

実験Ⅲ CAPM

- ・投資行動の効率性と投資家のリスク選好との関係の分析
- ・分離定理の実験的検証

実験Ⅳ Option

- ・オプションのリテール化実験

研究成果をベースとした今後の展開

実務的応用 金融リテール 企業IR

- 投資家のリスク選好や嗜好に合わせた投資信託の設計
[例えば、テーマ別CSR*ファンド等]
- 実用的で信頼性の高いリスククイズの開発
- 投資リスクのインフォームド・コンセント手法の開発
- 企業IR手法の革新とIRコンサルティング

教育的応用 金融リテラシー

- 個人投資家の価値観を考慮した投資教育手法の開発
- 株式／金融デリバティブ教育における効率的な教育／研修システムの開発

社会的応用 金融工学の成果の 社会的共有

- 個人投資家の満足度を高める金融商品構築による社会貢献
- 個人投資家がいこなせる金融工学ツールの開発

*CSR (Corporate Social Responsibility) : 企業の社会的責任